



表彰を受ける(手前から)橋本徳典さん、岡山西農業協同組合山手蔬菜メロン部友野清志さんと劔持郁男さん、総社もも生産組合の吉富透さんと中島正雄さん



総社市奨励賞の表彰状を手にする(左から)星尾麻衣さん、花屋智也さん、中井隆彰さん

がんばった人を表彰

優良農業者・総社市奨励賞

2月20日には、研究に励んだり地域活動に積極的にかかわったりした岡山県立大学生に贈る総社市奨励賞の表彰式が市役所で行われました。受賞したのは、中井隆彰さん(保健福祉学部)と花屋智也さん(情報工学部)、星尾麻衣さん(デザイン学部)の3人です。

2月26日には市役所で、農業の発展に功労のあった優良農業者として、新技術を導入した岡山西農業協同組合山手蔬菜メロン部、品質向上を図った総社もも生産組合、後継者育成に努める橋本徳典さん(秦)が表彰されました。

おめでとうございます

柴床さん 井上さん 100歳の祝い

2月15日に柴床かやのさん(清音三因)が、3月1日には井上喜久榮さん(総社)が、ともに満100歳の誕生日を迎えられ、県と市から記念品が贈られました。

柴床さんは、テレビや友達とのおしゃべりが好きで、長寿の秘訣については、「ヨーグルトなどを食べ、栄養に気をつかっとることかな」と教えてくれました。

井上さんは、相撲や時代劇を見るのが好きで、長寿の秘訣については、「くよくよしないで、のんびりすること」と話してくれました。



誕生日を多くの人に祝福され、喜ぶ柴床かやのさん



祝福してくれる人に「ありがとう」と感謝する井上喜久榮さん

地区別で初開催

総社北地区子どもまつり

3月9日、総社北分館で総社北地区子どもまつりが開かれました。これは、地域に密着した子どもまつりをと、地区単位で初めて開催されたもの。遊びやおやつなど、全てが地区の人の手作りです。

祭りには、地区内外から多くの親子連れが参加。シャボン玉や輪投げ、ペタンク、竹とんぼ・竹ポコなどを楽しんだり、蒸しパンやポップコーンをほうばったりと、子どもたちの元気な声があふれていました。また、幼児や高齢者を対象にしたサロンも同分館で同時に開かれ、世代間の交流にもなっていました。



シャボン玉で遊ぶ子どもたち

Photo News



吉備文化や日本語の奥深さを語る

吉備野ものがたり「言葉と音楽の彩」

2月10日から3月2日までの間、3回にわたって、吉備野工房ちみちで、吉備野ものがたり「言葉と音楽の彩」が開かれました。

3回目の3月2日は、フリーアナウンサーの森田恵子さんの進行による、なんばみちこさん(上原)と立石憲利さん(井尻野)でのシンポジウムでした。約40人が参加。立石さんは民話を介したコミュニケーション、なんばさんは語りが引き起こす想像力について話しました。参加者は、3人が語り合う吉備文化や日本語の奥深さなどの話に聞き入っていました。



民話や語りのよさなどについて語り合う(左から)森田恵子さん、なんばみちこさん、立石憲利さん

ミニフォト

お話って楽しいね



人形劇を楽しむ参加者

お話いっぱい子どもの広場が2月23日、清音福祉センターで開かれ、人形劇や紙芝居によるお話を、親子連れ約400人が楽しみました。この催しを運営したドリームブックネット総社は「お話って楽しいものだと知ってほしい」と言います。

関心と関わりをもって認知症予防



経験を基に熱く語る和田さん

認知症講演会が2月14日、サンロード吉備路で開催。約170人が聴講。東京都地域密着型サービス事業者連絡協議会の代表和田行男さんが、「認知症の予防には、自分以外の人に関心と関わりをもつことが大切」と呼び掛けていました。

合唱の魅力を堪能



弦楽器の演奏といっしょに

合唱団こぶのコンサートが2月24日、市民会館で開催されました。「俵積み唄」や「さくら」、弦楽合奏とのコラボレーションによるポピュラーソングなど全15曲を披露。会場内に響き渡る美しいハーモニーに、観客は魅了されていました。

体験コーナーがにぎわう



ちぎり絵体験を楽しむ

中央公民館まつりが3月1日・2日の両日、総合文化センターで開催されました。講座生の作品展示や芸能発表とともに、ちぎり絵や書道、トルペイントなどの体験コーナーも開設。小さな作品づくりを楽しむ人々にぎわっていました。

心に響く太鼓の鼓動



客席から盛んな拍手が送られた

備中温羅太鼓の定期演奏会が2月17日、市民会館で行われました。新曲の「破軍」や代表曲の「温羅」など全13曲を披露。太鼓だけでなく鉦や笛なども織り交ぜたり、舞台上に吊られた太鼓を叩いたり、観客を多に楽しませました。

バターづくりを体験



牛乳を振るとバターになる

山手地区食育をすすめる会は、食に対する知識を深めてもらおうと2月24日、食品工場の見学とバターづくり体験の社会見学を実施。約60人の子どもが参加。バターづくりでは、悪戦苦闘しながら、ピン球大のバターができました。